

科目名	特別演習（卒業必修）				
授業形態	演習	学年	2		
開講時期	2023年度 前期～後期	単位数	2		
担当教員	葉山 亮三				
内容および計画	<p>幼児期における発達段階の変化に関心を持ち、それぞれの年齢時期に現れる造形表現、身につける造形能力の変化を学び、幼児の実態を把握する。造形素材、技法、作品を学び、ものづくりの持つ様々な表現とそれぞれのをねらいを理解する。幼児の立場、指導者の立場を模擬授業を体験することで考える。幼児に対して行う造形実践案について、内容と流れを検討し、考案する。また適宜教材を作成し実践に備える。</p> <p>一連の流れの中で、受講者の関心に即したテーマを設定し、各自研究を進め論文を作成する。概略は以下の3点となる。</p> <p>①ものづくり、造形教育の知識、技術を習得し、教材を作成する。</p> <p>②実践的な活動、制作を計画し、行う。</p> <p>③各自の研究テーマを設けて、考察し、論文を作成する。</p>				
1	オリエンテーション				
2	保育教材の作成				
3	様々な表現法①				
4	様々な表現法②				
5	幼児の造形表現 ～発達段階の理解～				
6	教材研究①				
7	教材研究②				
8	ワークショップ① ～準備～				
9	ワークショップ② ～体験～				
10	ワークショップ③ ～準備～				
11	ワークショップ④ ～体験～				
12	造形プログラム① ～内容検討～				
13	造形プログラム② ～プレゼンテーション～				
14	造形プログラム③ ～試作～				
15	造形プログラム④ ～準備～				
16	造形プログラム⑤ ～実践～				
17	造形プログラム⑥ ～振り返り～				
18	論文テーマの検討				
19	論文の作成方法 ～文献考証～				
20	論文の作成方法 ～データ結果のまとめ～				
21	論文作成① ～導入～				
22	論文作成② ～仮説～				
23	論文作成③ ～検証～				
24	中間発表				
25	論文作成④ ～中間発表を踏まえて～				
26	論文作成⑤ ～考察～				
27	論文作成⑥ ～まとめ～				
28	発表①				
29	発表②				
30	まとめ				
教科書	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

